

所属	看護医療学部臨床検査学科	職位	教授	氏名(学位)	森 啓至 (博士 (医学))	
所属学会	日本生理学会、日本神経科学会、日本医学教育学会					
専門領域	生理学					
研究テーマ	アルツハイマー型認知症と嗅覚異常の関連 炎症性サイトカインが神経幹細胞へ及ぼす影響 マウス膝関節軟骨変性の機序解明と進行予防について					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)	生理学等の講義において、限られた講義時間のなかで学生の理解を深めるため、盤書での講義に加えて書き込み可能な図表を配布し OHP およびパソコンを積極的に活用した講義を行った。また、講義中に学生同士がディスカッションする時間を随時取り入れ、積極的な学び (アクティブラーニング) を行った。これにより、特に入学間もない 1 年生にとって難解な基礎医学分野の講義内容を、少ない講義時間で効率よく理解させることができた。					
2 作成した教科書、教材、参考書	金城大学医療健康学部 1 年生および看護学部 1 年生を対象とした生理学実習、解剖生理学実習に使用する目的で、それぞれの実習書を作成した。 医学領域における臨床検査学入門 改訂版第 2 版 医学領域における臨床検査学入門 追補 (13,16,17,)					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	日本生理学会 生理学エディター認定 (2013 年 1 月～2020 年 12 月)					
4 その他教育上特記すべき事項	平成 25 年度講義・実習が優秀であると金城大学より評価され「優秀教員表彰」受賞					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
著書	実学としての理学療法外観	共著	2015 年 11 月	文光堂	編集主幹：奈良勲 共著者：木林勉、森山英樹、森啓至他 36 人	45 頁 ～58 頁
紀要	学生の OSCE に対する意識と臨床自習成績の関係	共著	2017 年 3 月	金城大学紀要第 17 号	河野光伸、吉武将司、森啓至他 6 人	185 頁 ～192 頁
紀要	膝関節拘縮モデルに対する寒冷刺激効果の基礎的検討	共著	2020 年 3 月	金城大学紀要第 20 号	森啓至、中川拓也、小島聖	(掲載決定)
III 主な学会活動						
発表(報告)名等		単独 共同	発表年月	学会名等		
PC12 細胞内 Nrf2 活性に対するアリピラゾールの作用		共同	2015 年 9 月	第 45 回日本神経精神薬理学会・第 37 回日本生物学的精神医学会合同年会		
関節拘縮後の関節軟骨に対する寒冷浴の効果		共同	2018 年 12 月	第 6 回日本運動器理学療法学会学術大会		
DMM と ACLT の複合によるマウス変形性膝関節モデルの作成		共同	2018 年 12 月	第 6 回日本運動器理学療法学会学術大会		
大腿神経損傷が変形性膝関節症モデルの軟骨変性に及ぼす影響		共同	2019 年 11 月	第 24 回日本基礎理学療法学会学術大会		

IV 社会における主な活動	
活動期間	活動内容等
2015年4月～平成20年3月 2012年4月～現在に至る	公立私立大学動物実験施設協議会代議員 藤田医科大学医学部客員教授